

令和元年度 大田市社会福祉協議会事業報告

1. 事業概要

今日、地域社会においては少子高齢化の進行と併せ、就業構造の変化や人間関係の希薄化などを背景として、人々が直面している地域生活課題は複雑・多様化し、日常生活における不安は増大しており、国においては、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう困難を抱える人を含め、一人ひとりの多様な社会参加により地域を共に創っていく地域共生社会の実現を目指した取組みが進められています。

社会福祉協議会においては、これまで取組んできた福祉のまちづくりにおける地域福祉活動の推進に加えて、生活困窮者の自立支援あるいは権利擁護事業で培ってきた力を一層発揮し、地域共生社会の実現へ向けた中心的な役割を果たしていくことへの期待に併せ、社会福祉法の改正により、社会福祉協議会には社会福祉法人としてのガバナンスの強化や事業運営の透明性の確保、財務規律の強化と地域における公益的な取組みの推進などが求められています。

このような中、本会では民生委員児童委員や自治会をはじめ、地区社協及び地域団体、社会福祉法人、行政など関係機関との連携を強化しながら、第2次地域福祉活動計画の指針に基づいた取組みを進めて参りました。

生活課題の解決へ向けた多機関協働による体制づくりに取り組むために大田市より受託した地域福祉支えあい推進事業では分野を超えたつながりづくりに取り組んだほか、個別支援と地域をむすび、支援を円滑に推進するための仕組みの構築を目指すコミュニティソーシャルワーカーを配置し、様々な地域団体と連携しながら地域福祉活動の支援強化と増進を図りました。

支援を必要とする世帯の自立の助長と、福祉サービス利用援助事業や成年後見事業などの権利擁護の推進においては、民生委員児童委員をはじめ多くのみなさまのご協力をいただき実施いたしました。

地域住民が主体の支えあいの体制づくりを推進する生活支援体制整備事業では、新たに3地区で組織体制が整備され、現在20地区において高齢者の通いの場づくりを中心とした事業活動が進められているほか、地区社協をはじめとしたサロンなどの地域活動において、誰もが役割を持つ社会参加の必要性について理解を深めるための研修会の開催や啓発活動に取り組みました。

そのほか、大きな被害が生じた島根県西部地震による被災者からの相談に対し、ボランティアセンターとして支援活動を継続して行うことと併せ、解決が難しいケースについて多機関と連携し協議検討を進めました。

以上、令和元年度事業計画のもと、地区社会福祉協議会をはじめ民生児童委員協議会、各関係機関・団体のご協力をいただきながら各種事業を実施いたしました。

2. 実施事業

推進目標 1 住民参加による地域福祉活動の推進

(1) 地区社協を中心とした住民主体の地域づくりの推進

◇地区社会福祉協議会連絡会議の開催

- ・開催日 平成31年4月24日（水）
- ・会場 大田市民センター 4階
- ・主な内容 (1)行政説明
(2)平成31年度大田市社協事業計画について
(3)平成31年度大田市社協補助・助成事業及び交付金について
(4)その他事務連絡

◇地区社協活動支援事業

地区社協が取り組みを行う地域活動が円滑に実施できるよう支援することを目的として活動助成を行った。

- ・申請地区 27地区社協
- ・実施内容
(1)各地区社協と地区担当職員が連携して地域活動に関する研修会を実施。
主な内容：福祉委員活動に関する研修
市内の地区社協の事業活動状況等の情報交換
地域づくりに関する研修・グループワーク など
(2)地区社協の事業計画に基づいた、異世代交流、友愛訪問活動、サロン活動支援、配食事業、伝統・文化継承などの地域活動に係る事業経費の助成。

◇福祉委員活動の推進

福祉委員の活動状況の共有や、福祉委員活動のてびきを活用して福祉委員の必要性、役割などの理解と啓発を図った。

◇CSW 設置事業・地域福祉力アップ推進事業（大田市地域福祉支え合い推進事業）

① コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置

地域福祉課職員5名をCSWとして位置づけ、地域住民からの相談を丸ごと受けとめる機能を担い、適切な制度・サービス及び専門機関へのつなぎや関係機関・地域住民等と連携し課題解決に取り組んだ。

② ふくしよろず相談窓口の設置

「分野を問わず丸ごと受けとめる場（窓口）」として社協本所内に開設し、生活する中で起こる様々な暮らしの困りごと・悩みごとについて、“まず受けとめる”機能の充実を図った。また、今なお続く島根県西部地震による被害・困りごとへの相談もふくしよろず相談窓口専用回線により受け付けると共に相談窓口について、市内関係各所への広報チラシの配布及び設置やケーブルテレ

ビでの音声告知、地域での会議や研修会等での広報など、積極的に周知・広報活動を行った。

<開設日>

月曜～金曜 9:00～17:00（祝日および年末年始を除く）

<新規相談受付件数>

255件（平成31年4月1日～令和2年3月31日まで）

<受け付けた相談の処理状況>

- ・課題解決／55件（情報提供のみによる終了も含む）
- ・関係機関につないだ／80件
- ・相談支援包括化推進員につないだ／5件
- ・継続対応中／115件

③ コミュニティソーシャルワーカー（CSW）活動の推進に向けた体制の整備

「他人事を我が事に変えていくような働きかけ」を意識した取組みや既存事業の見直し、各CSWが担当する地区の個別支援及び地域支援の展開におけるワーカー間の情報共有や支援方法の協議・検討、共通認識を図る事を目的として、地域力強化推進ミーティングを開催した。（開催実績：11回）

④ 地域福祉力アップ推進事業

福祉委員と民生児童委員が連携して地域ニーズの把握及び情報の収集・共有を行い、課題の解決に向けた地域活動の活発化を図ることを目的として実施した。

<実施地区> 14地区社協（延参加人数：290人）

<プログラム内容>

- (1) 地域課題についての意見や情報交換
- (2) 福祉マップづくり
- (3) 福祉委員の活動についての研修や活動状況の共有
- (4) 他地区の取組み状況について情報交換 など

(2) 住民自主組織の活動支援

◇ふれあい・いきいきサロンづくり活動推進事業

<指定サロン> 1サロン（大田町：柳ヶ坪にここサロン）

<令和元年度末現在のサロン総数> 116サロン

◇大田市介護予防活動市民大会サロン大交流会

- ・開催日 令和元年12月17日（火）参加者126名
- ・会場 大田市民会館 中ホール
- ・主な内容 (1) 歌の指導「笑顔で歌いましょう」
講師：山根澄子氏（元教諭）

(2)介護予防体操指導「0854-8体操」

講師：和田康志氏（大田市立病院 理学療法士）

講師：山崎朋子氏（健康運動実践指導士）

(3)講演会「お達者落語会」

講師：安部正之氏（有限会社メディカルサポート代表）

◇地域介護予防活動支援事業

<介護予防活動実施団体> 152 団体

No.	地区	団体数	申請団体	No.	地区	団体数	申請団体
1	大田	8	大田町社協	14	大屋	2	地区社協
		2	まちづくり推進協議会	15	久利	8	まちセン運営委員会
2	川合	8	ふるさとづくり21推進協議会	16	大森	6	まちセン運営委員会
3	池田	4	地区社協	17	水上	8	地区社協
4	志学	6	地区社協	18	祖式	3	地区社協
5	北三瓶	7	地区社協	19	大代	4	地区社協
6	富山	3	地区社協	20	温泉津	3	まちセン運営委員会
7	朝山	2	地区社協	21	福波	5	地区社協
8	波根	4	地区社協	22	湯里	6	まちセン運営委員会
		2	まちセン運営委員会	23	井田	4	まちセン運営委員会
9	久手	7	まちセン運営委員会	24	仁万	4	地区社協
10	長久	13	まちセン運営委員会			1	まちセン運営委員会
11	鳥井	8	地区社協	25	宅野	2	まちセン運営委員会
12	静間	2	地区社協	26	大国	7	地区社協
		3	まちセン運営委員会	27	馬路	3	地区社協
13	五十猛	7	地区社協	合計		152	

(1)ふれあいいきいきサロン・介護予防活動実施団体交流会

・開催日 令和元年6月27日（木）参加者138名

・会場 大田市民会館 中ホール

・主な内容 (1)「笑って心ほぐし体ほぐし」

講師：山根千恵美氏（健康運動指導士）

(2)情報交換と交流

(2)元気づくりプログラム研修事業 参加者延べ151名

サロン活動のプログラムづくりを支援することを目的として、地域のサロン団体等のスタッフを対象として市内4ヶ所で研修会を開催した。

・開催日及び会場

仁万会場／仁万まちづくりセンター 7月31日（水）

久手会場／久手まちづくりセンター 8月8日（木）

志学会場／志学まちづくりセンター 8月9日（金）

大田会場／大田市民会館 中ホール 9月13日（金）

・主な内容 「サロンで楽しくできる健康づくり」

講師：山根千恵美氏（健康運動指導士）

◇生活支援体制整備事業

地域での高齢者の生活支援に関する協議・支援を行う協議体の設置・運営、事業の実施について、地域組織を中心として、大田市及び関係機関と連携して支援を行った他、地域づくりに向けた研修などの意識啓発を行い、新たに3地区で協議体が設置され、市内の協議体設置地区は20地区となった。

① 市内各地区協議体への支援と連携

地区での協議体設置に関する相談への対応について、地域組織と連携し協議・研修等を開催し、設置へ向けた支援を行った。また、協議体設立後の組織運営や事業の実施に関する支援を行った。支援においては地区担当コミュニティソーシャルワーカー（CSW）が地域組織や第2層生活支援コーディネーターと連携し相談の対応や情報提供を行った。

<協議体の設置状況>

	地区名	協議会の名称	協議会の設置	コーディネーター数
1	川 合	川合地域ささえあい協議会	平成28年10月	1名
2	波 根	波根地域ふれあい協議会	平成28年8月	2名
3	湯 里	ゆさと元気会	平成28年10月	2名
4	久 利	久利まちづくり推進協議会	平成28年10月	1名
5	井 田	井田なごみ園	平成28年12月	5名
6	福 波	福波ささえあい協議会	平成29年3月	2名
7	大 国	元気おおぐに推進協議会	平成29年4月	2名
8	池 田	池田すこやかクラブ協議会	平成29年6月	2名
9	長 久	長久地域ふれあい協議会	平成29年8月	1名
10	温泉津	温泉津ふれあい協議会	平成29年12月	2名
11	久 手	久手町ささえあい協議会	平成30年1月	2名
12	宅 野	宅野生活支援協議会	平成30年2月	2名
13	大 屋	大屋介護予防協議会	平成30年10月	3名
14	志 学	志学まちづくり推進協議会	平成30年11月	3名
15	仁万・天河内	仁万・天河内ふれあい協議会	平成30年12月	3名
16	五十猛	五十猛いきいき協議会	平成30年12月	2名
17	大 代	大代えびすの会	平成31年3月	1名
18	大 森	大森たすけあい協議会	平成31年4月	2名
19	馬 路	てごしようかい馬路	令和元年10月	2名
20	富 山	富山地区社会福祉協議会	令和2年1月	2名

<訪問地区数> 22地区

<延べ訪問回数> 369回

・訪問の内訳

- (1) 会議・研修等への参加 105 回
- (2) 相談・打合せ等の訪問 264 回

<生活支援コーディネーター情報交換会等の開催>

協議体に配置された第2層生活支援コーディネーター相互情報交換と関係機関との連携を目的とした情報交換会を定期的に行なう。

- ・開催日 毎月1回（月末の金曜日を基準に行なう）
- ・主な内容 市及び市社協からの連絡事項、実施事業の課題等の意見交換、情報の共有、レク講座など

<スタッフ研修会の開催>

協議体が行なう事業の円滑な運営を目的として、事業スタッフを対象にグループワークを中心とした研修会を行なう。

(1) 第1回スタッフ研修会

- ・開催日 令和元年6月28日（金）参加者114名
- ・主な内容 高齢者の体調管理について
講師：社会医療法人仁寿会訪問看護ステーションながひさ
中田 千恵子氏

(2) 第2回スタッフ研修会

- ・開催日 令和2年1月24日（金）参加者302名
- ・主な内容 みんなでつながる・つなげる支え合いの地域づくり
講師：ご近所福祉クリエイション 主宰 酒井 保氏
※地域福祉研修会と兼ねて開催

(3) 第3回スタッフ研修会

- ・開催日 令和2年2月21日（金）参加者110名
- ・主な内容 コミュニケーション力を磨こう！
講師：グループワークトレーニング上級アドバイザー
木村 真介氏

<移動・外出支援に関する地域活動助成事業>

地域における移動・外出支援に関する地域ニーズの把握及び課題解決に向けて取り組む地区社協に対し、地区担当職員が連携して取り組むことと併せて事業実施に係る経費の助成を行なった。

(1) 実践地区 4地区社協（波根、水上、湯里、福波）

(2) 実施内容

- ①課題の調査・把握のためのアンケート調査とその分析
- ②課題解決に向けた協議・検討

③移動・外出支援に関する既存事業の見直しや新たなしくみづくり

◇子育て支援団体連絡会への支援

市内の子育てサロン・サークルに所属する親子同士の交流を目的とした「子育てサロン交流会」の開催と併せ、各子育てサロン・サークル代表者同士の情報交換や行政等からの子育て支援に関する情報提供や意見交換を目的とした「子育て支援団体連絡会」を開催した。

- ・開催日 令和元年12月3日（火）
- ・会場 仁摩保健センター
- ・参加者 子育てサロン交流会：21組44名
子育て支援団体連絡会：11名

◇レクリエーション用具等貸出し事業

- ①福祉体験学習用品（疑似体験等）貸出し／16件（市内学校、施設等）
- ②軽スポーツ・レクリエーション用具貸出し／373件
- ③機材等の貸出し／73件

（3）住民相互の助け合い意識の啓発とつながりづくり

◇高齢者の見守り活動に関する協定に基づく連携

「高齢者の見守り活動に関する協定」に基づき、高齢者一人世帯の見守りを新聞販売店、民生児童委員などの関係団体と連携し行った。

<対応件数> 2件

◇地域福祉研修会の開催

地域住民が主体となって取組みをすすめていくうえでの住民相互の関わりにおいて大切にしたい視点や、支え合いの必要性について改めて考えるきっかけとして、関係機関・団体が連携しながら一人ひとりの持つ力を活かした地域活動が推進されることを目的として研修会を開催した。

- ・開催日 令和2年1月24日（金）参加者302名
- ・主な内容 みんなでつながる・つなげる支え合いの地域づくり
講師：ご近所福祉クリエイション 主宰 酒井 保氏

（4）地域福祉活動への住民及び施設・団体等の参加促進

◇障がい者社会参加促進事業

<障がい者スポーツ振興事業>

大田市障がい者関係団体連絡協議会へ依頼し、三障がい合同のスポーツ大会を実施した。

- ・実施日 令和元年9月6日（金）

- ・会 場 大田総合体育館
- ・参加者 225名（身体：29名、知的：84名、精神：73名、
手話通訳：2名、施設職員・ボランティア・スタッフ：37名）

<生活訓練事業>

(1) 視覚障がい者の集い

大田市身体障がい者福祉協会へ依頼し実施した。日頃1人では遠方や行き慣れない場所へ外出することが困難な視覚障がい者の社会参加と移動介助ボランティアとの交流が図られた。

- 実施日 令和元年5月19日（日）
- 行 先 鳥取県：鳥取砂丘、わらべ館
- 参加者 34名（障がい者15名、ボランティア・スタッフ19名）

(2) バスハイキング事業

大田市身体障がい者福祉協会へ依頼し実施した。身体障がい者やその家族の社会参加と移動介助ボランティアとの交流が図られた。

- 実施日 令和元年10月18日（金）
- 行 先 奥出雲絲原記念館・おろちループ
- 参加者 86名（障がい者53名、家族・ボランティア・スタッフ33名）

(3) 障がい者との体験ツアー

大田市障がい者関係団体連絡協議会へ依頼し実施した。ボランティアの方に協力いただき、参加者との交流を深めながら見学・散策を行った。

- 実施日 令和元年7月7日（日）
- 行 先 大山まきばみるくの里（鳥取県）
- 参加者 157名（障がい者88名、家族・ボランティア54名、
手話通訳・スタッフ15名）

(4) 身体障がい者パソコン教室

大田市身体障がい者福祉協会へ依頼し実施した。個々のレベルと要望に沿った内容とし協会員のパソコン愛好者によるマンツーマンでの指導を行った。

- 実施日 令和元年11月12日（火）～22日（金）のうち全4日間
- 会 場 島根中央地域職業訓練センター1階パソコン教室
- 受講者 身体障がい者3名

(5) 福祉講演会

令和2年3月に実施を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

◇障がい者週間啓発事業

大田市障がい者関係団体連絡協議会へ依頼し、人権週間・障がい者週間啓事

業として「ふれあいフェスティバルおおだ」を開催した。

- ・実施日 令和元年12月8日(日)
- ・会場 サンレディー大田ふれあいホール
- ・主な内容 ①人権作文発表
②障がい者団体による活動発表
③記念講演
講師：野澤 和弘氏(一般社団法人スロコミュニケーション代表)
- ・来場者 約480人
※手話通訳3名、要約筆記4名、移動介助ボランティア6名

◇健康・生きがいがづくりフェスティバルの開催支援

大田市内でのスポーツ大会等(グラウンドゴルフ、ゲートボール、ダイヤゾン・ボール、サイクリング、ターゲットバードゴルフ、将棋)の健康・生きがいがづくりを目的として開催される大会について助成及び支援を行った。

- ・実施団体：6団体(大会参加者：250名)

◇社会福祉法人地域公益活動の推進

第2回準備会を開催し、法人連絡会の設立に向け、今後のスケジュール等各種事項について協議した。

- ・開催日 令和2年3月11日(水)
- ・会場 大田市民センター2階 社協会議室
- ・参加法人 7法人(構成委員数11名)

◇老人福祉センター管理運営事業

<大田老人福祉センター>

- ・利用団体総数 682団体
- ・利用者総数 16,615人

<仁摩老人福祉センター(びしゃもん)>

- ・市内入湯者数 5,210人(老人：4,383人、大人：801人、小人：26人)
- ・市外入湯者数 4人(大人：4人)
- ・施設利用数 85件
- ・設備利用数 230件

◇団体等事務局の受託

- ・大田市民生児童委員協議会
- ・日本赤十字社島根県支部大田市地区
- ・大田市共同募金委員会

(5) 共同募金運動への協力

募金運動に協力し、集まった募金を各地区社協、福祉事業実施団体、当事者組織等へ事業助成を行った。(助成一覧：別紙1参照)

◇助成金配分実績額 6,495,287円

推進目標2 在宅生活の自立を支える活動の推進

(1) 関係機関との連携による相談体制の充実

◇司法書士相談

<開設日> 毎月第2火曜日 10:00~12:00 (本所)

<相談件数> 22件 (相談者実数18名)

<相談内容>

内 容	家族	人権・法律	苦情	土地・家屋	債務	相続
件 数	1	1	1	11	2	6

◇石見法律相談センター相談会 (面談相談・パソコン法律相談)

<面談相談> (予約制)

・開設日 毎月1回 10:00~15:40

・相談件数 78件

<パソコン法律相談> (予約制)

・開設日 毎週金曜日 10:00~15:40

・相談件数 4件 (相談内容：家族・親族関係)

◇関西大学法科大学院出張法律相談

・開設日 令和元年8月26日 (月)

・会 場 大田市民会館

・相談件数 7件

(2) 包括的支援の充実

◇生活困窮者に対する支援 (生活サポートセンターおおだの取組み)

<自立相談支援事業>

経済的困窮や社会的孤立などの様々な課題を抱える地域住民からの相談に応じ、関係者・関係機関等との連携を図り、社会的経済的な自立に向け本人の意向を踏まえながら、本人の状況に合わせて包括的・経済的支援を行った。

(1)新規相談者数 51名 (男性：32名、女性：19名)

(2)新規相談内容延件数 198件

相談内容	件数	相談内容	件数
病気・健康・障がい	26	地域との関係	5
住まい	16	家族との関係	8
収入・生活費	48	子育てのこと	2
家賃・ローン	12	介護のこと	13
税金・公共料金支払	19	引きこもり・不登校	2
債務	13	DV・虐待	0
仕事探し・就職	19	食べるものがない	11
仕事上の不安・トラブル	4	その他	0

(3) 自立支援計画（プラン）作成件数 32 件

支援調整会議を毎月 1 回開催し、支援方針を確認し決定。

初回プラン	再プラン	合計
23	9	32

- ・プランの評価実施件数 13 件
支援調整会議において評価を実施。

終 結	再プランして継続	中 断	合 計
3	9	1	13

(4) 支援状況

- ・相談支援延べ件数（電話相談、面談、訪問、同行支援等）：1,307 件
- ・生活福祉資金の貸付
- ・民生融金の貸付
- ・家計改善支援
- ・ハローワークと連携し生活保護受給者等就労自立促進事業を利用
- ・生活物品の貸出

(5) 研修及び会議

- ・職員の資質向上のため外部研修に参加（参加回数 10 回）
- ・関係機関との連携に関わる会議に参加（参加回数 41 回）

<家計改善支援事業>

家計の課題を抱える生活困窮者に対して、家計の状況を明らかにして自ら家計を管理できるように支援を行った。

- ・利用件数 13 件
- ・主な支援内容
家計管理、滞納の解消や各種制度等の利用、債務整理、貸付あっせん等に関わる支援
- ・相談従事者の資質向上のための「家計改善支援スキルアップ研修」の開催

開催日 令和2年3月23日（月） 参加者 11名
 会場 大田市民センター
 主な内容 講義「家計の見直しポイント」
 講師：横原 治氏（日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 AFP）

<就労準備支援事業>

就労に向けた準備が整っていない生活困窮者に対して、一般就労に向けた準備としての基礎能力の形成が図れるよう支援を行った。

- ・ 定期的な訪問
- ・ ボランティア活動、職場体験の協力依頼
- ・ 若者サポートステーション事業との連携協議

◇資金貸付事業

生活課題の改善・解決に向け、必要な資金を融資し世帯の自立支援を行った。

(1) 生活福祉資金貸付（実施主体：県社協）

- ・ 対象 高齢者、障がい者、低所得者世帯
- ・ 業務 資金相談（借入相談、申請支援、生活相談、償還指導等）
- ・ 相談件数 382件
- ・ 貸付決定数 14件（前年度：10件）
- ・ 貸付金額 7,875,000円（前年度：16,090,000円）

資金種類	件数	金額(円)	備考
総合支援資金	1	315,000	
福祉資金(福祉費)	3	1,898,000	技能習得経費:1件(准看:1件) ※ふるさと看護併用 生業経費:1件 一時経費:1件
緊急小口資金	1	33,000	初回保護費受給までの生活費
緊急小口資金(特例貸付)	2	300,000	R2/3/25より新型コロナウイルスの影響による収入減について貸付受付を開始
教育支援資金	7	5,329,000	大学:1件 専門学校:5件 高校:1件 ※母子父子寡婦福祉資金併用:3件、 介護福祉士等修学資金併用:3件、 育英会併用:1件
不動産担保型生活資金	0	0	資金交付:R1年7月終了
合計	14	7,875,000	

(2) 民生融金貸付（生活資金・緊急現金）

- ・ 対象 生活困窮状態
- ・ 業務 資金相談（借入相談、生活相談、償還指導等）
- ・ 貸付実績 23件 430,000円（前年度 13件 210,000円）
- ・ 用途別の件数と貸付金額

種 別	使 途	件数	金額 (円)	備 考
生活資金(5万円以内)	生活保護のつなぎ	0	0	
	生活福祉資金のつなぎ	0	0	
	年金のつなぎ	1	50,000	
	給与のつなぎ	0	0	
	その他	4	200,000	車の購入、アパート入居経費、屋根修理、車検費用
緊急現金(1万円以内)		18	180,000	
合 計		23	430,000	

・償還状況

償還件数・金額／36件 295,000円（前年度43件 294,000円）

償還完了件数 /15件（前年度19件）

◇フードバンク事業（寄付食料品備蓄による困窮者への食料支援）

- ・主な寄付食料品 米、カップ麺、レトルト食品、缶詰等
- ・食料寄付件数 43件（団体9件、個34件）
※前年度30件（団体5件、個人25件）
- ・食料支援件数 114件（生保世帯等含む。前年度118件）

◇生活物品の貸出

生活困窮者の自立へ向けて生活用品の貸出を行った。

- ・貸出し利用件数 3件（貸出物：冷蔵庫、洗濯機、炊飯器、卓上コンロ）

◇総合的な相談支援体制づくり事業（大田市地域福祉支え合い推進事業）

①事業推進プロジェクト会議の開催

市と連携・協働し、本事業を進めていくため、事業推進の方針決定や、組織体制の整備、計画的な事業実施、事業の進捗管理等を行うことを目的として開催した。

<構 成 員> 市地域福祉課2名（地域福祉課長、地域福祉係長）、
社会福祉協議会8名（事務局長、総務課長、地域福祉課長、生活支援課長、各課職員1名、事業担当者）

<開催実績> 12回（毎月1回開催）

②大田市地域福祉推進支援機関代表者会議への参画

様々な支援機関が相互に連携を図り、当該事業を効率的かつ効果的に推進することを目的として大田市が設置・開催する「大田市地域福祉推進支援機関代表者会議」へ参画し、本会が受託する大田市生活困窮者自立相談支援事業及び地域福祉支え合い推進事業における相談実績等、事業実施状況について報告を行った。また、大田市地域福祉推進支援機関実務者会議の中で把握された課題

について、問題提起を行うとともに、参加機関から様々な意見を求めることを目的としたグループ討議を行った。

＜参加実績＞1回（年1回開催）

③大田市地域福祉推進支援機関実務者会議の開催

様々な支援機関の現場業務に従事する実務者が相互に連携を図り、包括的な支援体制を整えることを目的として設置する「大田市地域福祉推進支援機関実務者会議」を開催し、複合的課題を抱える事例や困難事例への対応方法の検討及び各支援機関の役割・機能などについて相互理解の促進を図った。

＜開催実績＞11回（毎月1回開催※11月は中止）

＜構成員＞

相談支援機関名
大田市福祉事務所 大田市健康増進課 大田市地域包括支援センター 障がい者地域生活支援センターせいふう 亀の子サポートセンター 大田市社会福祉協議会 （生活サポートセンターおおだ、大田市成年後見支援センター） その他ケースに応じて相談支援包括化推進員が事例提供者との協議の下決定した機関（者）

④相談支援包括化推進員の配置

多分野にわたる相談支援機関が協働し、包括的な支援体制を構築していくため、総合的なコーディネートを担う「相談支援包括化推進員」を大田市社会福祉協議会と大田市福祉事務所に各1名ずつ配置した。相談支援包括化推進員は、各相談支援事業者やCSWから多機関協働が必要と思われる支援困難ケースについて相談を受け、実務者会議を招集し、複合的な地域生活課題を抱える困難事例の対応検討を行った。

(3) 個別課題に基づく地域づくり

◇こころのたより発送事業

大田市民生児童委員協議会との共催で、市内在住の75歳以上の一人暮らしの高齢者及び夫婦ともに80歳以上の高齢者夫婦世帯に対し、声かけ・見守り等の安否確認を行なうことを目的に暑中見舞いとしてハガキを届けた。

＜対象者＞ 1,944名

◇重度身体障がい者移動支援事業

ボランティア（運転者・補助員）によるリフト付自動車での外出支援を行った。

＜利用登録者数＞ 142名（休止中の方も含む）※内新規利用登録者1名

＜実利用者数＞ 11名

- <年間延利用者数> 131名
<年間稼働日数> 116日（運行用務：受診・リハビリ、買物など）
<ボランティア登録者> 34名（運転者・補助員：明星の会）
<ボランティア活動延数> 238名

◇学生服等再活用事業

不用となった学生服等を寄付していただき、必要とされる方に提供し、子育て家庭の負担軽減、資源の有効・循環利用を推進した。

<対象物> 市内の小・中学校及び近隣高校の制服、体操服、柔道着

<寄付物件数> 13名から44件

<寄付物内訳> 学生服：27件、体操服：14件、柔道着：1件、その他：2件

<制服等準備することが難しい家庭への提供数> 2世帯

(4) 当事者団体などへの支援

◇大田市身体障がい者福祉協会事務局受託

本会に事務局を設置し、活動の推進を図った。

◇大田市障がい者関係団体連絡協議会事務局受託

本会に事務局を設置し、大田市内の障がい者施設と連携を図り、各種事業を推進した。

◇大田市シニアクラブ連合会活動支援

大田市シニアクラブ連合会が実施する各種事業へ協力し、円滑な事業運営を支援した。

◇家族相談員紹介事業

障がいのある方が地域で生活していくうえでの不安や悩みなどを当事者家族相談員が受けとめる相談会を大田地域家族会親和会へ依頼し実施した。

- ・相談日 毎月第1・第3木曜日
- ・会場 社会福祉法人亀の子地域活動支援センター
- ・相談件数 118件

◇福祉バス運行事業

社会福祉活動を推進するため福祉団体が行う事業に関して福祉バスを運行することで、参加者移送の利便を図った。

<登録団体数> 58団体

<利用団体数> 42団体

<運行回数> 118回

(5) 福祉事務所をはじめとする関係機関・団体との連携に向けた会議等への参画

(大田市)

- ◇大田市障がい者自立支援協議会
- ◇大田市保健対策推進協議会
- ◇大田市人権尊重のまちづくり審議会
- ◇大田市生涯現役・いぶし銀が支えるまちづくり推進協議会
- ◇大田市要保護児童対策地域協議会
- ◇大田地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会
- ◇大田市公共交通対策協議会
- ◇青少年の居場所 ゆきみーる運営等検討会
- ◇大田市地域福祉推進支援機関代表者会議
- ◇大田市子ども・子育て支援推進会議

(大田圏域)

- ◇障害者就業・生活支援センター事業連絡会議
- ◇大田圏域女性に対する暴力対策関係機関連絡会
- ◇大田圏域精神保健医療福祉連絡協議会
- ◇大田圏域自死総合対策連絡会
- ◇大田圏域健康長寿しまね推進会議
- ◇大田・邑智地域生活支援会議

推進目標3 ボランティア活動の推進

(1) ボランティア人材の養成とスキルアップ

◇ボランティア交流事業

- ・第5回縁カフェおおだ

実施日 令和2年3月14日(土) 参加者：15名

会場 大田市民センター2階多目的室

◇奉仕員養成事業

①手話奉仕員養成講座(後期日程：全24回)

実施日 平成31年4月10日(水)～令和2年3月14日(土)

会場 大田市民センター2階社会福祉協議会会議室

受講者 9名

②点訳奉仕員養成講座(全12回)

実施日 令和元年9月14日(土)～令和2年2月29日(土)

会場 大田市民中央図書館2階会議室

受講者 1名

③広報音訳ボランティア養成講座(全5回) 受講者：3名

実施日 令和元年7月20日(土)～令和元年8月31日(土)

会 場 大田市民センター1階機能訓練室

◇地域福祉活動サポーター養成事業

①聞こえのサポーター養成講座

開催日 第1回：令和元年7月27日（土）受講者5名

第2回：令和元年8月24日（土）受講者6名

第3回：令和元年9月7日（土）受講者7名

会 場 大田市民センター・島根中央地域職業訓練センター

②移動介助ボランティア養成講座 受講者：12名

開催日 令和元年9月30日（月）

会 場 大田市民センター4階 多目的室

◇ボランティア・市民活動センターの運営

ボランティア養成講座等の受講者へ情報提供と活動支援を行った。

- ・個人、団体及び施設行事へのボランティア依頼／14件（活動者延106名）
- ・食育活動ボランティア依頼／64件

◇ふくしとくらし体験事業

炊出し等の防災体験を通じた福祉学習を企画したが、内容と対象者の設定や開催時期などに課題があり、参加者が集まらなかったため中止とした。

(2) ボランティア活動に関する相談・支援体制の強化

◇緩和ケア啓発事業への助成・支援

がんなどの病気において、発見から終末までの苦痛や精神的な不安などをやわらげ、その人らしく生きられるように医療・保健・福祉サービスが一体的に提供されるよう、自主活動グループ「緩和ケアネットワーク大田」の構成団体として活動に取り組んだ。

<構成団体> 医療機関、民間団体、訪問看護ステーション、介護保険事業所、地域包括支援センター、行政機関、一般住民等（会員50名）

<活動内容> 緩和ケアの啓発活動

- ・「緩和ケアを考えるつどい」の開催

期 日 令和元年10月27日（日）

会 場 大田市民会館中ホール

主な内容 講演：「あなたががんになったとき…守りたい日々の暮らし
～家庭・仕事・地域の活動～」

講師：島根大学医学部附属病院 がん患者・家族サポートセンター

榎原 貴子氏（がん専門相談員）

- ・「石見銀山がん哲学外来ミニカフェ」の開催

期 日 令和元年7月7日(日)、9月1日(日)、11月10日(日)
令和2年1月19日(日) 計4回
会 場 大田市民センター機能訓練室
主な内容 ネットワーク会員と当事者とのグループトーク

◇ボランティア保険に関する手続き事務

①ボランティア活動保険(事故対応1件)

- ・加入者数:1,323名
〈Aプラン〉 1,252名 〈天災A〉 25名
〈Bプラン〉 43名 〈天災B〉 3名

②送迎保険(事故対応0件)

- ・加入件数:31件

③ボランティア行事用保険(事故対応3件)

- ・加入件数:379件(1,201事業分)

④福祉サービス総合保障(事故対応0件)

- ・加入件数:24件

◇収集ボランティア活動の推進

暮らしの中で簡単・手軽に取り組める収集ボランティア活動の推進を図った。

- ・使用済み切手の収集/25件
送付先:誕生日ありがとう運動本部(障がい者福祉活動の啓発)
- ・プルタブの収集/32件
送付先:大田高校JRC部「プルタブを集め車イスに交換活動」
- ・ペットボトルのキャップの収集/39件
送付先:NPO法人エコキャップ推進協会(内閣府認証)に送付

◇企業・団体が行うボランティア活動との連携

- ・活動調整件数:6件
内 容 民間企業が行う地域貢献活動の調整と活動を連携して行った。

◇民間助成事業に関する情報提供等

- ・民間助成ニュース速報(月2回)を関係機関へ周知
- ・助成金申請希望団体への申請に係る支援
- ・山陰中央新報社会福祉事業団「愛のともしび募金」助成事業申請事務
※大田市から7団体申請し、3団体が決定

(3) 災害時に備えた地域住民及び関係機関とのネットワーク体制の強化

◇災害ボランティア活動の推進

- ・島根県災害ボランティア隊への協力
岡山県新見市豪雨災害へのボランティア募集：令和元年9月

◇防災・減災推進事業

- ・島根県西部地震からの復興を考えるシンポジウムの開催
実施日 平成31年4月14日（日）
会場 サンレディー大田
参加者 約200名

◇しまね災害福祉広域支援ネットワークへの職員の登録及び派遣

- ・福祉専門職登録者数：4名（社会福祉士）

◇大田市ボランティアセンターにおける被災者支援活動

平成30年4月9日に発生した大田市を震源とした島根県西部地震において被災された世帯への支援のため、ボランティアによる支援活動を継続実施した。

<活動状況>（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

- 相談件数 62件
- 活動件数 83件（活動日数：48日）
- 延活動者 577名

◇災害訓練等への協力

- ・大田市総合防災訓練への協力
期日 令和元年11月17日（日）
会場 温泉津総合体育館
内容 島根県西部地震でのボランティア活動について展示ブースを設置

推進目標4 福祉の心・人材の育成

（1）住民主体の地域福祉活動推進に向けた意識啓発と担い手の育成

誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりのために、住民一人ひとりが相互理解を図り、人と人とのつながりの大切さや地域生活課題と向き合い、自分にできることは何かを考えることをねらいとして地域及び学校での福祉教育の推進を図った。

<小学校>

- ・実施校数 7校（実施回数14回）
- ・対象人数 延べ215名
- ・主な内容 障がいの理解及び体験学習、高齢者疑似体験学習

<中学校>

- ・実施校数 1校（実施回数1回）

- ・対象人数 90名
- ・主な内容 高齢者疑似体験学習

<高 校>

- ・実施校数 1校（実施回数1回）
- ・対象人数 81名
- ・主な内容 ボランティア活動について

◇ライフステージに応じた福祉教育の推進

- ・あいサポート運動（障がいについての理解と配慮）の推進として、障がいのある方への必要な配慮などの理解、障がいのある方に対してのちょっとした手助けなどについて意識啓発を図った。

<受講者数> 20名

（2）福祉に関する情報提供及び啓発の推進

◇福祉器具の貸出

- ・車いすの貸出し：高齢者や障がい者、怪我治療中の方に車いすを貸出した。
貸出件数 31件（※貸出し述べ台数38台）

◇点字・声の広報の発行

①音訳広報の発行

広報音訳グループ「ベルの会」に依頼し実施した。（1回あたり17人に配布）

<発行内容>

- ・広報おおだ 年12回（月1回）
- ・市議会だより 年4回（4月、7月、10月、1月）
- ・社協だより 年6回（4月、6月、8月、10月、12月、2月）
- ・身障の友大田 年3回（6月、11月、3月）
- ・暮らしの情報、健康診断や不燃物収集等の年間予定表 年1回

②点字広報の発行等

点訳サークルたんぽぽに依頼し広報誌の点訳や個人からの文書等点訳の要望に対応した。

<実施回数> 毎月1回（12回実施）

<配布数> 1回あたり2部作成

推進目標5 権利擁護の推進

（1）権利擁護体制の充実

◇福祉サービス利用援助事業

<日常生活自立支援事業の推進>（県社協委託事業）

判断能力に不安を感じる方との契約に基づき、その人の意思決定を支える福

社サービス利用援助等を関係機関と連携し行った。

①支援計画作成

サービス内容／福祉サービス利用援助、日常的金銭管理、書類等の預かり、見守り等

②利用状況及び相談件数

- ・利用件数 96 件（前年度 99 件）

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
28	26	37	5	96

※その他 5 件（高次脳機能障がい、アルコール依存）

※生活保護 37 件（前年度 38 件）

※利用料一部免除 1 件

- ・新規利用件数 11 件

終了件数 14 件

※終了理由（死亡 4 件、施設入所 5 件、転居 1 件、後見移行 4 件）

- ・相談件数 3,360 件（前年度 3,819 件）

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
772	1,389	1,027	172	3,360

③生活支援員研修会（生活支援員：登録者 44 名）

- ・第 1 回生活支援員研修会（県社協主催）への参加

期 日 令和元年 9 月 10 日（火） 参加者：11 名

場 所 いわみーる（浜田市）

内 容 事務局説明／日常生活自立支援事業の現状

活動報告／浜田市社会福祉協議会、大田市社会福祉協議会

- ・第 2 回生活支援員研修会（市社協主催）

期 日 令和 2 年 1 月 17 日（金） 参加者：20 名

場 所 大田市民センター

内 容 研 修／事例報告、事例検討、意見交換、交流

◇法人後見事業（法人による成年後見への取り組み）

家庭裁判所からの依頼や市長申立て等で法人による後見等が必要な方の財産管理と身上監護等の後見業務を行った。

- ・法人後見運営委員会の開催

開催回数 1 回（受任の適否審議／可 1 件）

- ・出雲成年後見センターへの参加

- ・被後見人等に対する成年後見制度に基づく支援（財産管理・身上監護）

受任件数 3 件（男性 3 名）※新規受任件数 1 件、終了件数 1 件

類型	受任 件数	区 分					
		高齢者		知的障がい者		精神障がい者	
		在宅	施設等	在宅	施設等	在宅	施設等
補助	0	0	0	0	0	0	0
保佐	0	0	0	0	0	0	0
後見	3	0	1	0	0	2	0
合計	3	0	1	0	0	2	0

※在宅の方は、現在入院中での後見業務。

※終了件数1件については、被後見人死去による死後事務及び公正証書遺言による遺言執行業務も行った。

◇大田市成年後見支援センター事業

①大田市成年後見支援センター運営委員会の開催

開催日 第1回 平成31年 4月19日(金)

第2回 令和 2年 1月23日(木)

委嘱委員数 12名

②成年後見制度周知フォーラムの開催

開催日 令和元年5月18日(土) 参加者 85名

会場 サンレディー大田

主な内容 ・講演「漫才で学ぶ成年後見制度の役割」

講師：青空一風千風氏

・パネルディスカッション「市民後見人実践報告」

③市民後見人養成講座の実施

開催日 令和元年6月22日(土)～令和2年2月8日(土) 全10回

内容 市民後見実務カリキュラム(別紙2参照)

参加人数 22名(修了者20名/バンク登録希望者14名)

④市民後見人の推薦

推薦 3名(内選任1名) ※累計市民後見人21名

⑤成年後見に関する相談及び支援

相談件数 13件

⑥出雲成年後見センターとの連携及び定例会への参加

事例検討会参加 12回

成年後見意識啓発セミナーへの参加 1回

⑦成年後見制度啓発活動の推進

私のおんしんノート出前講座の開催 3回(延参加者数 210名)

⑧関係機関との連携

(1)家庭裁判所関係

・家事関係機関との連絡協議会へ参加

期日 令和元年10月28日(月)

会 場 松江家庭裁判所出雲支部
内 容 地域連携ネットワーク・中核機関の設置について
後見人の選任・監督に関する諸問題

- ・中核機関等のヒアリング

期 日 令和2年2月22日（土）

会 場 大田市社会福祉協議会 会議室

(2)市民後見人人材バンク

- ・市民後見人人材バンク交流会の開催

開催日 令和2年2月8日（土）（養成講座最終日終了後に開催）

会 場 大田市民センター4階

参加者 34名（バンク登録者、今年度講座修了者、運営委員、事務局）

推進目標6 組織体制の強化

(1) 広報活動の充実

◇社協だよりの発行（偶数月・年6回）

◇ホームページによる情報提供（市社協アドレス：WWW.Ohda-shakyo.jp）

◇点字・声の広報の発行（再掲）

◇ケーブルテレビなどの広報媒体の活用

ケーブルテレビなどの広報媒体や大田市刊行物の配布を活用し、事業等の周知に努めた。

(2) 事業推進体制の強化

◇理事会の開催

<第1回>

・期 日 令和元年6月10日（月）

・場 所 大田市社会福祉協議会 会議室

・協議事項 (1)平成30年度事業報告について

(2)平成30年度収支決算について

(3)新理事及び新監事候補者の選任について

(4)令和元年度定時評議員会の招集について

(5)評議員選任・解任委員会委員の選任について

(6)評議員候補者の推薦について

(7)評議員選任・解任委員会委員会の招集について

(8)経理規程の一部改正について

(9)生活困窮者自立相談支援事業等実施要綱の一部改正について

(10)規程管理規程の一部改正について

(11)職員給与規定の一部改正について

<第2回>

- ・期 日 令和元年6月26日(水)
- ・協議事項 (1)会長の選定について
(2)副会長の選定について
(3)常務理事の選定について

<第3回>

- ・期 日 令和元年12月20日(金)
- ・場 所 大田市社会福祉協議会 会議室
- ・協議事項 (1)職員給与規程の一部改正について
(2)経理規程の一部改正について
(3)定款細則の一部改正について
(4)事務処理規定の一部改正について
(5)インターネットバンキング利用規程(案)の制定について
(6)クレジットカード取扱規程(案)の制定について
(7)規程管理規程の一部改正について
(8)評議員候補者の推薦について
(9)評議員選任・解任委員の選任及び同委員会の招集について

<第4回>

- ・期 日 令和2年3月19日(木)
- ・協議事項 (1)令和元年度資金収支補正予算(第1号)(案)について
(2)令和2年度事業計画(案)について
(3)令和2年度資金収支予算(案)について
(4)評議員会の招集について

◇評議員会の開催

<第1回>

- ・期 日 令和元年6月26日(水)
- ・場 所 大田市民センター4階
- ・協議事項 (1)平成30年度事業報告について
(2)平成30年度収支決算について
監査報告
(3)役員を選任について

<第2回>

- ・期 日 令和2年3月27日(金)
- ・場 所 大田市民センター4階
- ・協議事項 (1)令和元年度資金収支補正予算(第1号)(案)について
(2)令和2年度事業計画(案)について
(3)令和2年度資金収支予算(案)について

◇監査会の開催

- ・ 監査対象期間 平成30年4月1日から平成31年3月31日
- ・ 期 日 令和元年5月22日（水）
- ・ 場 所 大田市社会福祉協議会 会議室
- ・ 内 容 平成30年度大田市社協事業及び会計監査

◇評議員選任・解任委員会

<第1回>

- ・ 期 日 令和元年6月17日（月）
- ・ 場 所 大田市社会福祉協議会 会議室
- ・ 協議事項 (1)大田市社会福祉協議会評議員の選任について

<第2回>

- ・ 期 日 令和元年12月27日（金）
- ・ 場 所 大田市社会福祉協議会 会議室
- ・ 協議事項 (1)委員長の選任について
(2)大田市社会福祉協議会評議員の選任について

◇苦情解決のための第三者委員への苦情、相談

- ・ 件 数 0件

◇職員の専門性向上と資格取得促進

- ・ 社会福祉士 1名資格取得

(3) 財源の確保

◇会員制度の周知と会員拡大

人口減少、世帯数減、自治会加入率の低下等の要因により、会費収入は微減。

(4) その他

◇新型コロナウイルス感染症に関わる対応

(1) 生活福祉資金の特例貸付

感染症の影響による休業、失業等により生活資金にお困りの方へ特例貸付を令和2年3月25日より受付を開始した。

<緊急小口資金貸付>

- ・ 相 談 件 数 3件
- ・ 貸付決定件数 2件
- ・ 貸 付 金 額 300,000円

(2) 令和2年3月に実施を予定していた事業等

3密（密閉・密集・密接）対策を講ずることが可能な事業等については実施し

たが、参加者等の感染防止を最重要と考え中止した事業等も多くある。

(3) 各地区社協への情報提供

感染予防対策及び高齢者の閉じこもり予防対策に関する資料を作成し、各地区社協へ提供した。